



文殊小学校だより

令和8年度 第4号

発行日 令和8年6月30日



梅雨に入り、すっきりしない天気の日が続いていますが、そのような中でも文殊っ子たちは、毎日楽しく元気に学校生活を送っています。

先日は、5・6年生が福井市小学校連合音楽会に向けて練習してきた歌声を校内発表会という形で披露しました。当日は、多くの保護者の方々に来校していただいたおかげで、子どもたちはいつも以上に張り切って歌うことができたようです。



さて、6月初めの全校朝礼で【凡事徹底】という言葉について話をしました。「当たり前のことを一つ一つ丁寧に最後までやり続ける」という意味の言葉ですが、実は辞書には最近掲載され始めた、わりと新しい言葉だそうです。たしかに、私が30年以上愛用している国語辞典には掲載されていません。なぜこの言葉が世に広まり、さまざまな企業や学校等（森保監督も使っています）で使われるようになったのか定かではありませんが、「当たり前のことを当たり前に行えるように」という意味が、広く共感できるものであることは確かです。全校朝礼では、子どもたちに、学校生活の中での「当たり前のこと」とは何か、について考えてもらい、一つの例として「あいさつ」を取り上げました。学校に来られたお客様や学校で作業をしてくださっている地域の方、毎朝見守り活動をしてくださっているパトロール隊の方などに自分たちからあいさつをしているか、そして感謝の気持ちを忘れていないか、と問いかけて自分の行動を振り返ってもらいました。その後の学校生活の中では、委員会活動であいさつ運動に取り組んだりしてくれたおかげで、子どもたちが自分からあいさつをしている姿が少しずつ見られるようになってきました。

このように子どもたちには、様々な場面で「当たり前のことを当たり前に行える」ようになってほしいと思うのと同時に、世界の紛争が続いている地域のことにも思いをはせ、現在の生活が当たり前ではなく、周りのたくさんの人たちに支えられているということへの感謝の気持ちも忘れないでほしいと思います。

（ 校長 櫻井 豊 ）

○サツマイモ苗植え（5/28）

毎年、JAのご協力で、1・2年生がサツマイモの収穫をしています。今年も、学校近くの畑にサツマイモの苗を植えました。秋の収穫が楽しみです。



○5年総合的な学習の時間

5年生が、総合的な学習の時間で「みんなでつくる！ごみのない文殊地区」をテーマに、文殊地区の各町内の現状を観察しながら、ゴミ拾いを実施しています。子どもたちが文殊地区の現状に目を向けて抱いた「美しい文殊地区にしたい！」という思いを、大切にしていきたいです。



♪♪♪ 素晴らしいハーモニーを奏でました。 ♪♪♪

○福井市小学校連合音楽会（6/24）

フェニックスプラザで福井市小学校連合音楽会が行われ、文殊小学校からは5・6年生のみなさんが参加しました。今年は「どっきん せみさん」という曲を、さまざまな演技や動きを取り入れながら合唱しました。文殊小学校の代表として、堂々と素晴らしい歌声を披露してくれました。



◆児童の感想（連音本番や練習で学んだこと）

学んだことの一つ目は、自分を主張しすぎず、でも声は出してみんなと合わせて美しいハーモニーを創り出すことです。二つ目は、協力し合い1つの作品を創り出すことです。私はこれから先の中学校や高校、もしかしたら大学でも1つの作品を創り出すことがあると思うので、これからもこの気持ちを忘れずに過ごしたいです。【5年生】

歌で人の心を大きく動かすことができるということを、この連音で学びました。みんなの心が一つになると上手に歌えたので、これからみんなで何かをするときには、チームプレーで一つになって、いろいろなことに生かしていきたいです。たくさんの人の心が動いてくれたので、歌ってよかったなと思いました。【5年生】

今回の連音で、仲間と協力して楽しむことの大切さを学びました。パートリーダーをして、初めは大変だったけど、最終的には改善点を見つけていって、よい演奏ができるようになりました。仲間と一緒にたくさん練習して、たくさん歌って、たくさん楽しんだからこそ、すてきな演奏ができたんだと思います。【6年生】

連音を通して、みんなで協力することの大切さを学びました。一人だけではいい演奏はできませんが、全員で協力することによっていい演奏ができるようになりました。また、本番に向けて努力を続けることの大切さも学びました。これからは学校生活や中学校での活動でも友達と協力しながら目標に向かってがんばっていききたいです。【6年生】